



東 雲

令和7年7月24日(木)

発行者 校長 伊志嶺嘉典

～～ 1学期終業式 ～～

7月18日(金)1学期の終業式を行いました。終業式の式辞では、始業式に話した「人の気持ちを考えて行動すること」と「凡事徹底」の2つのテーマについて、1学期の振り返りと、2学期への期待を伝えました。大まかな内容は以下のとおりです。

1. 思いやりの心を育む「小さな社会」

学校は生徒と教職員が共に過ごす「小さな社会」です。歓迎球技大会や遠足、地域美化作業など、生徒の皆さんが互いに思いやり、助け合う姿をたくさん見ることができ、嬉しく思いました。しかし、自分の行動が周囲に与える影響について、十分考えられていない場面も見受けられました。皆が気持ちよく過ごせるよう、自分のわがままをおさえ、相手の立場になって考えることが大切です。

2. 凡事徹底がもたらす成長

イチロー選手の言葉を引用して、「当たり前のことを当たり前でやり続けることが、とんでもないところに行く唯一の道だ」と話しました。この1学期、遅刻せずに登校し、授業に真剣に取り組んだ生徒、部活動で基礎練習を地道に続け、インターハイ県予選では素晴らしい成績を収めた生徒もいます。また、学校行事に向けて、準備から片付けまで、当たり前のことを最後までやり遂げる生徒会を初めとする生徒の姿は、周りにも良い影響を与えていました。一方で、残念ながら、授業に集中できなかったり、授業をさぼってしまったりした生徒も見受けられました。これは、自分自身の学びの機会を失うだけでなく、授業の雰囲気や乱し、他の生徒の学びの妨げにもなってしまいます。一見すると地味に見える「当たり前のこと」の積み重ねが、確かな成長へと繋がっています。

3. 3年生へ～未来を切り拓く大切な一歩～

進路に向けての学習など、大きな節目を迎える中で、真剣に自分と向き合い、努力を重ねる姿が見られるようになりました。皆さんがこれから取り組む進路選択は、皆さんの未来を形作る大切な一歩です。焦らず、しかし着実に、一つ一つの課題に粘り強く取り組んでください。

さて、いよいよ夏休みがスタートしました。夏季休業中においては、開放感等から生徒の気の緩みにつながり、事件事故等に巻き込まれてしまうことも懸念されます。特に、昨今、大麻等の違法薬物の若年層への広がり、闇バイトといわれる違法なアルバイトへの関わり、深夜徘徊や不適切なSNS利用等を介して性犯罪等に巻き込まれてしまうなど、重大な事件・事故等が発生しており、生徒を取り巻く社会状況や生徒指導上の課題が深刻になっております。ご家庭においても、生徒の健全育成に向けた安全・安心な夏季休業の過ごし方等について、注意喚起をお願いします。

【主な相談機関】

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

子ども若者みらい相談プラザ「sorae」

098-943-5335

性犯罪被害者相談電話

#8103 または、0120-656-110